

和歌山だよい

平成23年 10月号



那智の滝（那智勝浦町）

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P7
3. お知らせ…………… P8～P10
4. ふるさと歳時記…………… P11

～紀伊半島大水害～

まけるな!!
和歌山

「本当にやってくれるかどうかを見ているぞ」

台風12号の被害は大変なものでした。50名を超える死者、行方不明者を出してしまいました。家屋の全壊、半壊、床上浸水だけで4000を超すかという大損害、インフラはズタズタ、産業活動も大変な影響を受けています。何とか、これを建て直そうと、県、市町村が力を合わせて「とにかく早く」を合言葉に復旧、復興に取り組んでいます。国、自衛隊など多くの関係機関、関西広域連合など多くの仲間、建設業、産業廃棄物処理業、建築士、医療関係者そして多くのボランティアの方々がそれこそ不眠不休で助けて下さっています。義援金も続々と集まっています。心からお礼申し上げます。

私は主として県の災害対策本部で「あれはどうした。このためにこうしよう。」とか全軍を叱咤激励していますが、現場がうまく回っているか、市町村のニーズはちゃんとすくえているかのチェックと、被災された人への激励のために、時間の許す限り被災地を回っています。

しかし、激励と言っても、慰めと言っても、家族を亡くし、家を無くした人に対して、こういう時に申し上げるべき言葉が浮かんで来ません。何か申し上げますが、上手な人のようにはとてもうまく言えません。そんな時家族がまだ当時行方不明だった方の言葉に心を打たれました。「口でいくらうまく言っても、本当にやってくれるかどうかを見ているぞ。」その通りです。本当にやるかどうかです。それも全力で、大至急に。

災害対策の主役は制度上は市町村なのですが、大混乱している人達に県は「指導や報告徴取」などしてはいけません。インフラ、ゴミ、被害認定など人手が足りないぞと思う所へ県自身がどんどん出張って行って対策を進めていっています。国からも要人が視察に来て下さいました。「何でも言って下さい。できることは何でもします。」とおっしゃってくれています。事実大いに助けてもらっていますが、より長期に見て、安全な高速道路ネットワークの整備、広域的な河川の防災対策など我々を安心させ勇気づけるような対策を本当にとってくれるかどうか期待したい所です。

県民全員が力を合わせて、日本中が驚くような早期復旧と復興を果たしましょう。合言葉は「まけるな!!和歌山」



定例記者会見での仁坂知事

今月の和歌山県政トピックス

*最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします

～紀伊半島大水害～

まけるな!!和歌山

・和歌山県をはじめ、紀伊半島に甚大な被害をもたらした台風12号の豪雨から、まもなく二ヶ月を迎えます。被災地は、電気・通信事業者、地元建設業者、ボランティアの方々をはじめ、多くの皆さんのおかげで、このような大規模な災害にもかかわらず奇跡的なスピードで復旧が進んでいます。

| | | | |
|-------|--------------------|---|------------------|
| ○道路 | 160箇所が通行止め | → | 18箇所 |
| ○孤立集落 | 40地区 | → | 解消 |
| ○鉄道 | [JR] 紀勢線 白浜駅～新宮駅 | → | 不通 |
| | | | 白浜駅～紀伊勝浦駅 : 再開済み |
| | | | 紀伊勝浦駅～新宮駅 : 年内再開 |
| | [南海] 高野線 橋本駅～紀伊清水駅 | → | 再開済み |
| ○電気 | 約11万2千軒が停電 | → | 復旧 |
| ○水道 | 約3万4千戸が断水 | → | 復旧 |
| ○固定電話 | 約3万4千回線が不通 | → | 復旧 |



天皇皇后両陛下に被害状況をご説明

- ・10月7日、仁坂知事は、皇居において天皇皇后両陛下に、台風12号について、本県の被害並びに復旧状況をご説明しました。
- ・天皇皇后両陛下におかれましては、今回の災害を大変ご心配され、発生直後に羽毛田宮内庁長官を通して、お見舞いの言葉を仁坂知事に伝えられました。
- ・仁坂知事は、新宮市や那智勝浦町をはじめ被害の大きかった地域の状況や被災者の生活再建や事業再建に向けての取り組みなどを写真等の資料を用いて、約1時間にわたりご説明しました。

中川文部科学大臣が被災地へ

- ・9月25日、中川文部科学大臣が、那智勝浦町を訪れ、熊野那智大社を視察しました。
- ・視察には仁坂知事が同行し、熊野那智大社の朝日宮司の案内で、裏山が崩れ土砂が流れ込んだ社殿や那智の瀧などを見て回りました。
- ・今回の豪雨では、那智大社をはじめ世界遺産にも登録されている文化財が、各地で大きな被害を受けています。
- ・仁坂知事は、中川大臣に対して、これらの文化財をはじめ、学校や社会教育施設の早期復旧を強く、要望しました。



前田国土交通大臣が被災地へ

- ・10月17日、前田国土交通大臣が、那智勝浦町と新宮市を視察しました。
- ・多数の被害者が出た那智川沿いを見て回り、仁坂知事や地元の首長と今後の復興のあり方等について会談しました。
- ・仁坂知事は、今回の災害において、道路網で高速道路だけが無傷であったことを説明し、近畿自動車道紀勢線の整備促進をはじめ、災害に備えた多重的な道路網の整備を強く訴えました。



今月の和歌山県政トピックス

全国から義援金が寄せられています

- ・県内外の多くの皆様から、心暖まるご支援が寄せられています。
- ・10月7日現在で、約3億6千万円の義援金が県等に寄せられ、既に、約3億3千万円が市町村を通じて被災された方にお届けしています。

義援金受付状況(10月7日 現在)

| | | |
|-----------------|--------|--------------|
| 累計 | 6,251件 | 364,970,105円 |
| 内訳：日本赤十字社和歌山県支部 | 3,120件 | 51,512,707円 |
| 和歌山県共同募金会 | 590件 | 8,762,325円 |
| 和歌山県 | 2,541件 | 304,695,073円 |

義援金送金状況(10月7日 現在)

| | |
|----|--------------|
| 累計 | 333,350,000円 |
|----|--------------|

| 配分基準 | 人的被害 | | | | 物的被害(住宅) | | | 送金額 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-------------|
| | 死者 | 行方不明者 | 重傷者 | 親を亡くした児童 | 全壊 | 半壊 | 床上浸水 | |
| | 10万円 人 | 10万円 人 | 10万円 人 | 10万円 人 | 10万円 戸 | 10万円 戸 | 5万円 戸 | |
| 件数 | 50 | 4 | 2 | 2 | 224 | 1,519 | 3,017 | 333,350,000 |

東海和歌山県人会 山口会長が 来和

- ・10月14日、東海和歌山県人会の山口春三会長が仁坂知事を訪問しました。山口会長は「キリックスグループ」の社主としての一千万円と東海和歌山県人会の会員から集めた義援金を仁坂知事に手渡しました。
- ・山口会長は旧熊野川町の出身で、今回の被害に「強い痛みや悲しみを感じました。できるだけ協力をしていきたい。義援金の一部については熊野三山の復興のために役立ててほしい」と話しました。
- ・仁坂知事は感謝の言葉とともに「主要道路も復旧しているので、全国の人に和歌山に来てもらいたい」と話しました。



● 災害復興のための観光アクションプログラムを策定

・大水害からの交通路、文化財等の復旧がほとんど完全に近い形で、大変なスピードで行われたにもかかわらず、紀南の観光地では、観光客のキャンセルが相次いでいます。おそらく、TV等で被災時の映像が流れ、その後復旧を伝える報道がなされないため、観光客のイメージが固定化していることが原因と思われます。

・そこで、このような観光客のイメージを一新してもらうために、先に策定した和歌山県観光振興実施工動計画を見直し、新たに、「災害復興のための観光振興アクションプログラム」を策定しました。

主 な 内 容

[情報発信]

本県への旅行の安全性、復興をPRした「知事メッセージ」を各旅行会社あてに送付。さらにメディア、旅行会社、消費者に対し積極的に情報発信を実施します。

◆観光週間事業の実施

・テノール歌手「秋川雅史」による「まけるな！！和歌山 熊野復興祈念コンサート」を実施、大都市圏の地上波TV局、BS局で放映

〈日時・場所〉11月4日 熊野那智大社

・協賛店によるおもてなしキャンペーンの実施 〈実施時期〉11月

◆復興PRポスターの作成・掲出

・「まけるな！！和歌山」を取り入れたポスターを作成し、主要駅やサービスエリアに掲出 〈実施時期〉11月～平成24年3月

[世界遺産の保全活動]

◆10万人の参詣道「環境保全活動」の実施

・全国からボランティアを募集し、保全活動「道普請」を拡充。企業のCSR活動のPR活動を強化 〈実施時期〉10月～

[総合プロモーション]

県下各地域の観光団体やJR等と協働によりメディア、旅行会社、消費者向けのキャラバンを実施します。

◆緊急西日本プロモーションの実施

・大阪、岡山、広島、福岡のメディア、旅行会社、消費者に対してのPRキャラバンを実施 〈実施時期〉10月27、28、30、31日 11月14～18日

◆東海プロモーションの実施

・東海3県をカバーするメディア、名古屋の旅行会社、消費者に対してのPRキャラバンを実施 〈実施時期〉11月8、9日（メディアーTV・ラジオ出演、旅行会社）

[首都圏対策]

◆和歌山に行ってみようキャンペーンの実施

・首都圏にて1月に実施予定の上記キャンペーンに合わせ、復興した和歌山をPR 〈実施時期〉平成24年1月20日～2月2日

[海外対策]

◆現地セールスの強化

・海外の旅行会社を訪問し、和歌山の現状を正確に伝えることで、旅行商品の維持・拡充を推進 〈実施時期〉10月～ 中国、香港、米国、台湾、仏、独、豪州

●「元気な和歌山」の実現に向けて平成24年度新政策が決定

- ・平成24年度の新政策が決定しました。
- ・今回は、台風12号災害からの復旧・復興はもとより、元気な和歌山の実現のため、風水害や津波などの「災害に備えた『安全』の政策」、福祉や医療を充実させる「暮らしを守る『安心』の政策」、新産業の育成をはじめとする「新たな成長に向けた『挑戦』の政策」の3つを柱にして、積極的な予算の重点配分を行います。

災害に備えた『安全』の政策

台風第12号の甚大な災害からの1日も早い復旧・復興や東海・東南海・南海地震など将来の大規模災害発生に備えた取組を実施する。

- ・風水害への対策
道路河川農地農業用施設等の災害復旧、住宅再建支援、洪水情報の充実
- ・地震・津波対策
高台へ逃げるための避難路の設置、水門等の遠隔化・自動化
- ・大規模災害への総合的な対策
孤立可能性集落への防災無線機の整備、広域医療搬送体制の整備

暮らしを守る『安心』の政策

県民が不安なく日々の生活を営むために必要な福祉・医療の充実や治安の向上などに取り組む。

- ・子育て支援の充実
紀州3人っこ施策の推進、児童虐待等防止対策の強化
- ・県民の健康を守る安心医療の充実
地域の拠点病院の改築支援、看護師養成所設置支援
- ・安心して暮らせるまちづくり
防犯カメラ設置等による街頭犯罪防止対策

新たな成長に向けた『挑戦』の政策

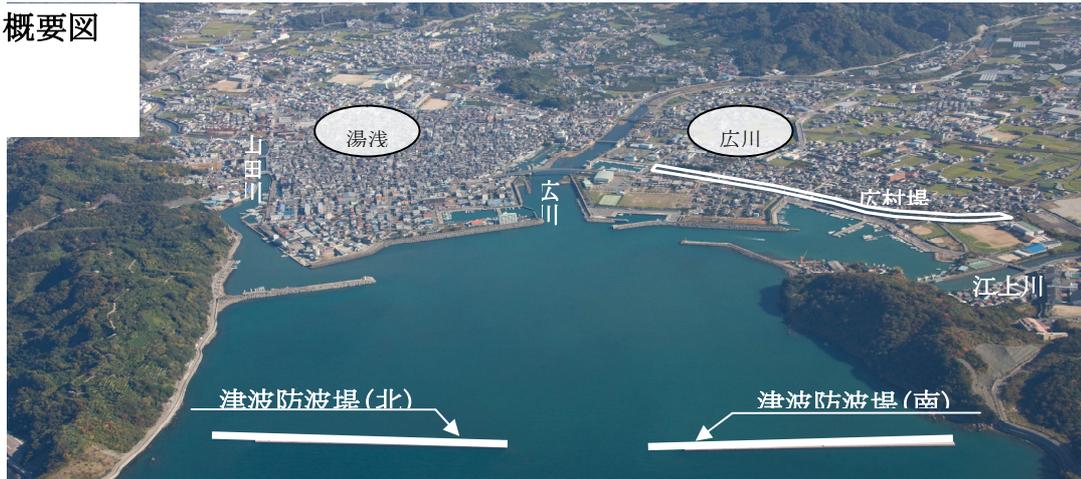
地域の活力を取り戻すため、県内産業の活力強化など本県の飛躍に繋がる将来を見据えた政策に取り組む。

- ・和歌山産業の競争力強化
産官学連携による売れる加工食品づくり
- ・観光産業の振興
観光案内板等の多言語化、観光モデルコースの提案
- ・農林水産業の振興
地域課題に応じた果樹産地づくり、新規就農者育成支援
- ・産業の発展を支える社会資本整備の推進
近畿自動車道紀勢線の整備促進、京奈和自動車道の整備促進
- ・未来を担う人材の育成
実践的な英語プログラムの導入

● 「湯浅広港」津波防波堤が完成

- ・平成10年度より整備が進められていた「湯浅広港」の津波防波堤が完成しました。
- ・この津波防波堤により、昭和南海地震クラス（M8.0）の津波が来襲した場合の浸水想定エリアがほぼ無くなるとともに、東海・東南海・南海地震が同時発生（M8.6）した場合に、現在想定されている津波による浸水エリアが3割程度減少する等の効果を見込んでいます。

概要図



● 堺和歌山県人会創立50周年記念総会 開催

- ・10月15日、堺和歌山県人会の創立50周年記念総会が大阪府堺市の「リーガロイヤルホテル堺」で盛大に行われました。
- ・鈴木会長は冒頭、台風12号災害による被災者へのお見舞いの後、「50周年を機にますます県人会を発展させたい」と力強く挨拶しました。
- ・続いて仁坂知事は50周年のお祝いの言葉を述べた後、台風12号災害の対応状況を報告するとともに、「まけるな！！和歌山」を合言葉に一日も早い復旧復興に向けて県が一丸となって邁進する旨、挨拶をしました。
- ・また、鈴木会長から、台風12号の被災者への義援金が仁坂知事に手渡されました。
- ・大阪、神戸、京都の各和歌山県人会をはじめ、多くの関係者もお祝いに駆けつけ、50周年にふさわしい一日となりました。



お知らせ

トルコ東部の地震に対する和歌山県の支援について

- ・10月23日にトルコ共和国東部ワン州において発生した地震により、甚大な被害が発生しました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に対し心よりお見舞い申し上げます。
- ・121年前のエルトゥールル号事件以来、日本とトルコ両国は困難が生じたときはお互いに助け合ってきました。その友好関係は政府間にとどまらず、草の根レベルに広がり、固い絆となって今日に至っており、先の台風12号災害では、トルコに縁のある方々から支援物資の送付を行っていただきました。
- ・日本トルコ両国友好の原点である和歌山県として、被災された方々のお力になりたいと考え本県では次のとおりの支援を行います。

1. 和歌山県として医療チームを派遣する用意があります。
2. 駐日トルコ共和国大使館を通じ、お見舞い金を贈呈します。
3. トルコ地震支援に対する義援金を県として募ります。

義援金口座： 紀陽銀行県庁支店

(普) 396915 和歌山県トルコ震災支援の会

お問い合わせ先 和歌山県文化国際課 TEL 073-441-2054 (直通)

「ココ・カラ。和歌山」フェスティバル in Tokyo 開催！！

- ・11月19日(土)～11月20日(日)、JAグループ和歌山では和歌山県と協働して、JR恵比寿駅西口 タイムズ24駐車場で「ココ・カラ。和歌山 フェスティバル in Tokyo」を開催します。
 - ・この時期は、秋冬果実・野菜・花の本番を迎えており、今回、初めて都内で「みかん園」を設置して、みかん狩りを楽しんでもいただきます。また、JAグループ「旬」の農産物や加工品の販促会を催し、和歌山の風景と味を懐かしんでもいただきます。
 - ・また、和歌山の人気のゆるキャラ「ミカピー、うめっぴ、かき音ちゃん等」の写真会やゲームも予定しており、お子様にも楽しんでいただけます。
 - ・当日、ご来場の際に「和歌山だより」をご持参いただいた皆様方には、インフォメーションにおいて「みかん10個」をプレゼント致します。
- 是非、ご来場下さい！



<11月19日(土)>
11:00～16:30
知事のトップセールス(ハリセンボン出演)、みかん狩り等

<11月20日(日)>
10:00～16:30
みかん狩り、各種イベント等

<開催場所>
JR恵比寿駅西口 タイムズ24駐車場
(東京都渋谷区恵比寿南1-6)



和歌山の旬のこだわり情報をお届けします

日本一の柿をどうぞ♪

和歌山県は日本一の柿の産地！かつらぎ町、紀の川市、橋本市、紀美野町、九度山町などの紀の川流域を中心として栽培されています。平成 22 年度の柿の収穫量は、和歌山県が 35,400 トンで 1 位を誇ります。次いで、2 位は奈良県 (22,300 トン)、3 位は福岡県 (14,900 トン) です (農林水産統計)。

今回、おいしい柿を作るために栽培技術の向上に努めている九度山町果樹研究会の山本会長から富有(ふゆう)柿についてお話を聞きました。



九度山町は富有柿の産地。1907年から柿栽培が始まったと言われてるんやけど、こんなに歴史が長いのは気候風土と土地柄が合うんやろなあ。柿は昼夜の温度差でキレイなオレンジ色に色づくんやで。10℃ぐらい差があるのが良いかな。

今年は順調に夜の気温が下がってきているので、10月中旬頃から、みなさまに早生の富有柿からお届けし始めていますよ。九度山の富有柿は日本で一番おいしいので、ぜひ味わってみてください！

「柿はのびのびと育てることが大切」と話してくれた山本さん。日当たりが良く、風通しの良い果樹園になるよう、気を配られていました。手をかけすぎても良くないし、放ったらかしでも良くない。いつも「ひとつひとつの顔をちゃんと見る」のだそうです。その姿は、まるで学校の先生のように感じました。台風や霜など毎年何か起こりますが、農家さんと困難を一緒に乗り越えて成長した柿がみなさまの元へ届けられているのですね。

あなたのタイプの“柿男”は？

柿とは言っても、形や食感も様々な特徴があります。さて、あなたのタイプの“柿男”は？



長男・リーダーシップのある「たねなし柿」(9月上旬～11月上旬)

いち早く出荷される。中谷早生等から始まり、刀根早生、平核無(ひらたねなし)と続く。洗柿なので、アルコールや炭酸ガスを使って洗抜き。種がないので食べやすく、ジューシー。



次男・個性的な「紀の川柿」(10月下旬～11月中旬)

ゴマをふったような黒い果肉が特徴。ひとつひとつの実に固形アルコール入りの袋をかけ、樹になった状態で洗を抜く。洗み成分のタンニンが固まったものが黒さの正体。濃厚な甘さとサクサクとした食感がある。



三男・甘えん坊の「富有(ふゆう)柿」(10月下旬～12月中旬)

甘柿の代表品種。たねなし柿や紀の川柿と違って、洗を抜く必要がない。果肉はやわらかく、とても甘い。色は夕日のように赤みを帯びている。形は大きく、丸くて愛らしい。

紀の川柿、“ショップチャンネル”に登場！

テレビ通販業界 No.1 番組「ショップチャンネル」で“和歌山生まれ！樹上完熟紀の川柿”が販売されました(10月3日放送済)。用意された2,000セット(2,5kg 税込 3,990円)があっという間に完売！人気の高さを証明しました。



世界へ羽ばたく“あんぽ柿”

東京(成田・羽田)発 ANA 欧米路線等のファーストクラスやビジネスクラスのメニューに、和歌山県産のあんぽ柿が採用(9～11月提供)。欧米の人にも人気のあんぽ柿がオシャレなメニューに仕上がっています。詳細はコチラ→ http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/file/13780_0.pdf

<メニュー名>

- ①「フォアグラ・ポークリエット・和歌山産あんぽ柿のミルフィーユ仕立」
- ②「パテドカンパーニュあんぽ柿添え」(写真右)
- ③「チキンとフォアグラのパテと和歌山県産あんぽ柿のガトー仕立」



柿娘(かきっこ)グループ

最近、健康志向の女性の中でドライフルーツが流行するなど、フルーツの加工品ブームが起きていますよね♪特に、“柿が赤くなれば医者が青くなる”と言われるほど、柿には栄養成分がたくさん含まれています。「一年中、九度山の柿を届けたい。九度山は柿の産地であることをPRしたい」と柿の加工品作りに取り組む『柿娘(かきっこ)グループ』の玉置会長が、“柿のかす漬け”と“柿しろっぷ”を紹介してくださいました。

「柿のかす漬け」(写真左)

シャキシャキとした食感を出すために若い富有柿を使用。酒のあてにもよし、天ぷらにしても良いですよ。細く切って水菜とサラダにするのもオススメです。

「柿しろっぷ」(写真右)

昔から作られてきた甘味料で、柿のエキスを焦がさないように気をつけながら、手間ひまをかけてじっくり煮詰めました。パン・ホットケーキ・ヨーグルト・クラッカー・紅茶などにかけてみてくださいね。この柿しろっぷを使ったカステラは「卵菓Hashitama」で売られています。ぜひ、お試しください。



「九度山町ふるさと産品直売所」、「やっちゃん広場」や「よってって」等で販売中！！

～紀州路 紅葉だより～

今回は、わかやま観光情報のサイトでテーマごとに和歌山の旅の魅力を紹介している「わかやま〇旅」から「わかやま花旅～紅葉～」のおすすめスポットをご紹介します。

美しく彩られた秋ならではの絶景を訪ねて、ぜひ和歌山へお越し下さい。

和歌山城内と紅葉溪庭園

紀州徳川家初代藩主徳川頼宣が西の丸御殿に築いた庭園で、江戸時代初期に作られた城郭庭園の中でも屈指の名園です。名前のとおり、庭園内には紅葉が繁茂し、見事な風景が描き出されます。11月23日には城内で「食祭WAKAYAMA2011」が開催され、和歌山のうまいもんが大集合します。



根来寺・五百仏山

真義真言宗の総本山根来寺。国宝に指定されている根本大塔をはじめ国や県の重要文化財となっている建造物が点在する広い境内は四季折々の自然に溢れています。

特に、境内を流れる大谷川沿いはもみじ谷公園とも呼ばれ、美しい紅葉に彩られます。

11月26日には「紀州根来寺かくばん祭」が行われ、大勢の人々で賑わいます。



奇絶峡

会津川上流の溪谷で、ユニークな形をした巨岩、奇岩が至る所に点在し、春は桜、夏は新緑と四季折々の美しさに彩られ、市民の憩いの場にもなっています。これからの季節、溪谷の4割近くが紅葉色に染まる景色は圧巻です。

護摩壇山

高野山と田辺市龍神村を結ぶ高野龍神スカイランからは紀州の屋根とも称される護摩壇山をはじめ、山々が連なる大パノラマの景色が楽しめます。

スカイラインは台風12号の被害により、通行止めとなっていました。10月21日に復旧し、また、ごまさんスカイタワーも22日に営業を再開しました。



～編集後記～

台風12号の豪雨による被災からまもなく二ヶ月を迎えます。

全国各地から、温かい御見舞や支援のお気持ちが寄せられておりますことに、改めて心よりお礼申し上げます。

県内各地でライフラインや道路網が、ズタズタになりましたが、復旧に携わる多くの方々の懸命なご尽力のおかげで、驚異的なスピードで復旧が進みました。

秋の紅葉シーズンを目前にして、高野龍神スカイラインが開通し、これにより、県内観光地への主要なアクセス道路がほとんど復旧となりました。

しかし、残念なことに、県内観光地への宿泊者が激減しています。「和歌山の観光地には行けない」という風評によるもので、今回の災害でほとんど被害のなかった白浜温泉等も大きな打撃を受けています。

このような状況を改善すべく、県では本号でご案内した「災害復興のための観光振興アクションプログラム」を策定しました。ホームページ等を通じて、道路アクセスなどの正確な情報を県内外に提供すると同時に、国内各地で「まけるな！！和歌山」プロモーション活動に取り組んでいます。

和歌山に多くの皆様が訪れていただくことが、何よりも、大きな復興へのご支援であり、確実な復興に向かう一歩となります。

まもなく、紀州路の山々は紅葉に彩られる美しい季節を迎えます。ぜひ、この機会に、ふるさと和歌山を訪れ、「まけるな！！和歌山」とエールを送っていただければ幸いです。皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。

知事室秘書課長 藤川 崇

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」
の発行以外の目的には、使用いたしません。



2011年(平成23年)10月 NO.43

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022